

2022年3月期 第2四半期決算補足資料

(2021年4月1日～2021年9月30日)

1. 2022.3期 第2四半期実績

(百万円)

	'22.3期2Q 実績	'21.3期2Q 実績	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	20,530	13,277	+7,253	+54.6%
営業利益	6,038	789	+5,249	+665.0%
経常利益	6,393	1,078	+5,315	+492.9%
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,019	961	+4,057	+422.2%
研究開発費	3,802	3,535	+266	+7.5%
研究開発費率(ロイヤリティー除く)	22.4%	26.8%	-4.4pt	-
営業利益率	29.4%	5.9%	+23.5pt	-
1株当たり四半期純利益(円)	89.07	17.04	+72.03	-
設備投資額	885	956	-71	-7.5%
減価償却費	474	408	+66	+16.2%
期中平均レート(US\$/円)	109.80	106.92	2.88	-

<前年同期比との増減要因>

- 売上高: 前年同期に新型コロナ影響を受けた反動に加え、ロイヤリティーの大幅な増加や関節機能改善剤(+7,253) ジョイクルの販売開始により、国内医薬品の薬価引き下げをカバーし増収。
 営業利益: 主に、米国で実施中の腰椎椎間板ヘルニア治療剤SI-6603追加臨床試験の進展により研究開発費(+5,249)等の販管費が増加したが、大幅な増収により増益。
 四半期純利益: 増収に伴い、大幅な増益。
 (+4,057)

2. セグメント別売上高

(百万円)

	'22.3期2Q 実績	'21.3期2Q 実績	前年同期比	
			増減	増減率
【医薬品事業】	16,136	9,978	+6,158	+61.7%
国内医薬品	6,805	5,961	+843	+14.2%
海外医薬品	4,449	2,976	+1,472	+49.5%
医薬品原体・医薬品受託製造	1,330	948	+382	+40.3%
ロイヤリティー	3,550	90	+3,459	+3818.3%
【LAL事業】	4,394	3,299	+1,095	+33.2%
合計	20,530	13,277	+7,253	+54.6%
(海外売上高)	9,135	6,246	+2,889	+46.3%

<主要製品の販売状況>

- 国内アルツ: 市場は新型コロナ影響から回復傾向。
 医療機関納入本数は新規納入施設獲得策の効果継続もあり増加。
 (前年同期比 市場+3.7%、アルツ医療機関納入本数+6.3%)。
 当社売上高は、薬価引き下げの影響を数量増でカバーし増収。
- ジョイクル: 2021年5月販売開始。2021年6月1日にブルーレター発出。
 適正使用を徹底していただくための安全性情報に関する情報提供に注力。
- オベガン類: 市場回復に伴い医療機関納入本数は増加。
 (前年同期比 市場+7.3%、オベガン類医療機関納入本数+3.3%)。
 当社売上高は、前年同期の出荷が多かったことに加え、薬価引き下げにより減収。
- ヘルニコア: 前年同期の新型コロナ影響の反動により、医療機関納入本数、当社売上高ともに増加。
- 米国向けジェル・ワン: 前年同期の新型コロナ影響の反動に加え、競合品からの切り替え施策が奏功し、
 現地販売本数は大幅に増加(前年同期比 約+25%)。
 当社売上高は、現地販売本数の増加に伴い増収。
- 米国向けスパルツFX: 前年同期の新型コロナ影響の反動により、現地販売本数は増加。
 当社売上高は、流通リスク回避に向けた前倒し出荷もあり増収。
- 中国向けアルツ: 集中購買の落札地域における伸長や販促活動の本格的な再開により、現地販売本数が増加。
 当社売上高は、第2四半期までに出荷が集中したことも加わり、大幅に増収。
- LAL事業: 海外子会社アソシエーツ オブ ケープ コッド インクにおける販売活動強化により、
 エントキシン測定用試薬、グルカン測定体外診断用医薬品及び受託試験サービスの受注が増加。
 国内販売は堅調に推移。

以上